

1. 太平洋 2. 東シナ海 3. 日本海 4. オホーツク海

1. 標高の等しい地点を結んだ線であり、2万5千分の1地形図では20mごとに主曲線（細い実線）が引かれている。
2. 傾斜の急な場所では等高線の間隔が広くなり、傾斜の緩やかな場所では間隔が狭くなる。
3. 等高線が山頂に向かって「く」の字に曲がっている部分は、尾根（周囲より高い場所）を示している。
4. 標高の等しい地点を結んだ線であり、2万5千分の1地形図では10mごとに主曲線（細い実線）が引かれている。

1. 図上の長さに25,000を掛け、単位をcmからmに換算して20,000mとする

2. 図上の長さに2,500を掛け、単位をcmからmに換算して2,000mとする

3. 図上の長さに25,000を掛け、単位をcmからmに換算して2,000mとする

4. 図上の長さを25,000で割り、単位をcmからmに換算して200mとする

1. 1世帯あたりの平均人数を算出し、住宅不足の状況を把握するため
2. その地域における将来の人口減少率を、面積の増減から予測するため
3. 面積が異なる地域どうして、土地の利用状況や居住の密集度合いを比較するため
4. 地域内に居住している外国人の割合を、面積との対比で明らかにするため

1. 接續水域 2. 排他的經濟水域 (EEZ) 3. 公海 4. 領海

1. 東京都に属しており、日本の領土の中で最も早く日の出を迎える場所に位置している。
2. サンゴ礁から成る島であり、護岸工事によって島が沈まないよう保全されている。
3. 北海道の北東に位置する北方領土の一つであり、現在はロシアによって占拠されている。
4. 沖縄県に属しており、台湾との距離が非常に近い場所に位置している。

1. 民間企業関係者や留学生などが含まれ、その分布は経済活動の規模が大きいアジアや北アメリカに偏っている。
2. すべての地域において留学生の数が最も多く、特に教育水準の高いオセアニアが最多となっている。
3. 政府関係者による外交活動が主目的であるため、アフリカや南アメリカなどの発展途上地域に集中している。
4. 観光目的の短期滞在者が中心であるため、どの地域も一様に数万人規模の分布となっている。

1. 東經154度 2. 東經123度 3. 西經154度 4. 東經135度

1. 鹿児島県 — 畜産業が盛んで、豚や肉用牛の飼育頭数が全国有数である。

2. 東京都 — サービス業や情報通信業などの第三次産業が集中している。

3. 大阪府 — 臨海部を中心に、古くから重化学工業の拠点として発展した。

4. 北海道 — 広大な土地を活かした大規模な機械化農業が行われている。

1. 兵庫県明石市 — 東経135度 2. 兵庫県神戸市 — 東経135度 3. 兵庫県明石市 — 西経135度 4. 兵庫県神戸市 — 東経140度

1. 排他的經濟水域 2. 公海 3. 領海 4. 接續水域

1. 内陸県であるため、隣接する県
数は周囲を囲む4つの県のみである。
2. 北側に新潟県、西側に岐阜県や富
山県など、計8つの県と隣接している
。
3. 東側で関東地方の群馬県や埼玉県
と接しているが、東北地方の福島県
とも接している。
4. 中部地方のすべての県（新潟・富
山・石川・福井・山梨・岐阜・静岡
・愛知）と隣接している。

1. 市の中に「行政区」が設けられ、都道府県が行う事務の一部である福祉や都市計画などを独自に行う権限を持つ。

2. 人口が一定数に達したことで、市議会を廃止し、代わりに国から派遣された職員が行政運営を行う。

3. 国の直接の監督下に置かれ、都道府県には属さずに独立した自治体として予算編成を行う。

4. 都道府県の許可を得ることなく、隣接する市町村を強制的に合併させて市域を拡大する権利を持つ。